

第53回成田市消防操法大会

ロボットの訓練の成果を披露

消防団の日々の訓練の成果を競う市消防操法大会が6月10日、32チームが出場して北羽鳥多目的広場で行われました。時折、小雨の降るコンディションの中、出場チームは、数力月に及び休日や夜間練習の成果を披露。迫力ある演技に観客から大きな声援が送られていました。主な成績は次のとおりです。ポンプ車の部で優勝した並木町と小型ポンプの部で優勝した飯田町は、7月1日に同会場で行われる印旛支部操法大会に出場します。

◎ポンプ車の部

優勝：並木町

準優勝：伊能

第3位：本町・東町・田町

努力賞：東西和泉、花崎町・上町

◎小型ポンプの部

優勝：飯田町

準優勝：前林第2

第3位：土室

努力賞：竜台、松子・臼作、船形、一坪田、下金山



ポンプ車の部で優勝を遂げた並木町チーム



正確な演技で小型ポンプの部を制した飯田町チーム

あるけ・歩け・歩こう会

初夏の景色を楽しみながら

外出日和の晴天となった5月27日、子ども館と坂田ヶ池総合公園間往復16キロメートルの道のりを踏破する「あるけ・歩け・歩こう会」が行われました。参加した20人は、長い道のりに備えて念入りに準備運動をした後、子ども館を出発。中台小学校や下総松崎駅を通過するコースを歩き、坂田ヶ池総合公園を目指しました。コースの途中では、咲き並ぶ花やモンシロチョウなどに子どもたちの歓声が上がリ、道中は終始賑やかな雰囲気には包まれていました。



会話に花を咲かせながら

水防演習

河川のはんらんに備え

「台風によって利根川がはんらん、危険水位を上回る見込み」との想定で5月26日、安西地先の利根川堤防で約600人が参加して水防演習が行われました。前日の降雨により地面がぬかるんだ悪条件の中、水防団による表むしろ張り・五徳縫いなどの水防工法をはじめ、消防本部と自衛隊による合同水難救助訓練などが相互に連携を図りながら実施されました。本番さながらの訓練に水防団をはじめ参加者は、増水期を前に水防の重要性を再認識していました。



機敏に五徳縫い工法を実施する水防団



ごみがあったよ!

「ポイ捨てをなくし、私たちのまちを私たちの手で美しく」を合言葉に、5月下旬に市内で環境美化運動が実施されました。27日の日曜日には、成田駅前周辺で商工会議所やボーイスカウトなどの団体が清掃活動と啓発活動を行い、美しいまちづくりを呼び掛けました。

第93回環境美化運動(ゴミゼロ運動) 私たちのまちを美しく

浅間様参り

子どもの健やかな成長を願って

子どもの長寿、健康、無病息災を願って行われる浅間様参り。下福田地区では7歳になるまでの子どもと父親とが家で作った赤飯を持って浅間様へお参りします。6月1日の早朝、息子の裕貴くんと一緒に訪れた飯田勝治さんは「産まれて間もないころは私がおぶってきた息子も来年、小学生になります。今年も幸い雨にも降られずお参りができました」と話していました。昔は農繁期と重なることもあり、早い人は朝5時ごろにお参りしたそうです。



早朝の静けさの中、浅間様へ

市民公開講座

「メタボ」にならないために

「メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)」をテーマにした印旛市郡医師会・成田市医師団などによる市民公開講座が、6月3日に保健福祉館で開催されました。最近テレビや雑誌などで話題になっているためか、225人も市民が訪れ会場はほぼ満員。講師を務めた内科医の松尾さんや健康運動指導士の長阪さんは、メタボリックシンドロームとはどんなものか、予防するにはどうしたらいいか、などを分かりやすく話し、参加者はメモを取りながら熱心に聴講していました。



日ごろの運動がメタボ予防の鍵

住宅用火災警報器普及促進デー

住宅火災の被害者減少を願い



火災警報器の普及に向けて

「千葉県住宅用火災警報器普及促進デー」の6月1日、消防関係者による防火啓発活動が行われました。参加者40人は、JR・京成の両成田駅前に分かれ、行き交う通勤客に啓発物資などを配りながら、住宅火災による死者の減少と住宅防火の徹底を呼び掛けました。